

「大和国(奈良県)における綿花栽培の特徴と展開、盛衰について」

- 1、H. A. M. A. 木綿庵（ゆうあん）の活動について
- 2、国内における綿花栽培の歴史
- 3、大和国(奈良県)における綿花栽培の特徴 ー灌漑用水の有効利用ー
- 4、大和国(奈良県)における綿花栽培の展開、盛衰 ー木綿織物業の隆盛ー
- 5、綿の品種、栽培と加工
- 6、国産綿花栽培の現状、展望 ー衣料自給率(原料ベース) ほぼ0%の実態ー
- 7、2025 全国コットンサミット in 天理 ー開催のご案内ー
- 8、活動を支える一ねん

* 糸紡ぎの実演 or 質疑応答

◇綿花収穫量（種付き、実綿）

明治20年(1887) 83,957t 明治44年(1965) 2,741t 昭和40年(1965) 56t
 139,928,688 斤 4,569,088 斤

出展：『日本紡績業と原棉問題研究』S12年、182頁

◇十基紡績所

玉島紡績所	岡山県	備中国浅口町玉島町	明治15年設立
下村紡績所	岡山県	備前国児島郡鴻村	明治15年設立
川島紡績所	三重県	伊勢国三重郡川島村	明治15年設立
佐賀物産会社	佐賀県	※佐賀の乱の影響により会社解散、開業に至らず	
市川紡績所	山梨県	甲斐国西八代郡市川大門村	明治15年設立
豊井紡績所	大阪府	大和国山辺郡豊井村	明治16年設立
長崎紡績所	長崎県	肥前国長崎浦上山里村	明治16年設立
島田紡績所	静岡県	駿河国志太郡島田村	明治17年設立
遠州紡績会社	静岡県	遠江国盤田郡二俣町	明治18年設立
下野紡績所	栃木県	下野国芳賀郡大内村	明治18年設立

* 「豊井紡績所」については、絹川太一『本邦綿絲（めんし）紡績史』第2巻（日本綿業倶楽部、1937年）の「第十一章 豊井紡績所」（327～367頁）に詳しい。

◇近代綿業の発展

十基紡とほぼ同時期に渋沢栄一が創立・育成に尽力した大阪紡績会社（現・東洋紡）は当初から輸入綿花を原料に、蒸気機関による大規模経営を行い成功を収めた。「1883（明治16）年に操業を開始した大阪紡績会社は、政府の直接的保護を受けることなく、当初から一万錐規模で蒸気機関を原動力として出発し、昼夜業を行なって資本制企業として最初の成功を収めた。」（前掲『日本紡績業史序説（上）』62頁）、「注意すべきことは、同社創設の時期は、二千錐紡績創設のあとではなく、ほぼ同じ頃だったことである」（同、63頁）と記されている。

こうして日本の近代綿糸紡績業は、日本の近代産業を牽引しながらこのあと民間資本によって大きな発展を遂げていく。

◇本居宣長『初山踏』（天保4年、1833）より

本文コピー出典：『本居宣長全集』第1巻（筑摩書房 昭和43年刊）

訳文コピー出典：『古典日本文学全集』第34巻（筑摩書房 昭和35年刊）

きことなれば、これもしひては定めがたきわざにて、實はたゞ其人の心まかせにしてよき也。證するところ學問は、ただ年月長く倦すおこたらずして、はげみつとむるぞ肝要にて、學びやうは、いかやうにてもよかるべく、さのみかゝはるまじきこと也、いかほど學びかたよくても、怠りてつとめされば、功はなし、又人々の才と不才によりて、其功いたく異なれども、才不才は、生れつきたることなれば、力に及びがたし、されど大抵は、不才なる人といへども、おこたらずつとめだにすれば、それだけの功は有物也、又晩學の人も、つとめはげめば、思ひの外功をなすことあり、又暇のなき人も、思ひの外、いとま多き人よりも、功をなすもの也、されば才のもしきや、學ぶことの晩きや、暇のなきやによりて、思ひくづをれて、止ることなかれ、とてもかくても、つとめだにすれば、出来るものと心得べし、すべて思ひくづをるゝは、學問に大にきらふ事ぞかし、さてまづ上の件のごとくなれば、まなびのしなも、しひてはいひがたく、



結局のところ、學問は、ひたすら、年月長くあきず、怠けないで励み努力することこそ肝心であり、研究方法は、どんなふうであってもよからうし、それほど拘泥しないのでよいのである。
どれほど研究の方法がすぐれていても、怠けて励まなければ、実は結ばない。また人々の才能があるかないかによって、その結果はすい

ぶん違うけれども、才能のあるなしは、生まれつきのことであるから致し方ない。しかし、たいていは、才能のない人といっても、怠けず勉強さえすれば、それだけの結果は得られるものである。また晩學の人も、努力すれば、案外よい成果を挙げることがある。また暇のない人も、案外、暇の多い人よりも業績をあげるものである。だから才能に恵まれぬことや、晩學のこと、暇のないことなどによって、勇気を失って学ぶことを止めてはいけない。

H. A. M. A. 木綿庵（ゆうあん）

代表 梅田正之

HP <https://hamayuan.com>

Facebook 「やまのべ木綿庵」

Instagram 「you_and333」